



再び経験する附属の学校文化

教頭

2018年も残りわずか。先日は、今年の漢字として「災」が選ばれました。なるほど、福井も2月は大雪で、全国的に災害の多かった年でした。皆さんの今年の一字は何でしょうか？今年一年経験したことは人それぞれで、「新」「挑」「満」等色々な漢字があると思います。私の一字は「再」です。今年は「再び」ということが多かった1年でした。この附属義務教育学校に再び勤務することになり、校長先生を始め福井大学の先生方や副校長先生と再会することができました。

さて、再び附属に勤務することになり、附属ならではの良さを再確認することができました。生徒主体の活動は、やはり附属を象徴するものです。演劇や学年プロジェクトなどの活動、合唱祭等は脈々と受け継がれているもので、私もかつて経験した附属ならではの学校の文化です。附属で学ぶ生徒の皆さんも先生方もその良さを実感しているからこそ、代々人が替わっても、その形を十年、二十年との残してきたのだと思います。

人が替わっても受け継ぎ、創られていく附属の学校文化。伝統的な学校行事を通して、皆さんも、先生方も成長していく姿が見られます。いろいろ悩んだり、周りの人と相談したりしながら、より良いものを目指して活動を創っていく力は、これから未来を切り開いていく皆さんにとって、正に必要とされる力です。そういう未来を創造していく力を、皆さんはこの附属の学校文化を通して着実に身につけていきます。また、先生方も、この附属の学校文化を経験することで、皆さんと同様、自身の教員として力を磨いていきます。私自身、前回の附属勤務では附属の学校文化に育てられ、多くのことを吸収し、教師として成長できたと思っています。

今年からまた、幸せなことに附属の文化を再び経験することになりました。皆さんや先生方が附属の学校文化を経験し附属に来てよかったと思えるよう、これからも陰ながら応援していきます。そして、学校文化を大切にする附属義務教育学校が、ここに集う生徒や教師にとって、自身を大きく成長させる学校であり続けて欲しいと願います。

学年プロジェクト

—未来創作—



短期、中期、長期の活動について軸を確認して、それぞれの目標をもちました。

学うた実行委員会



学うた実行委員長

7-C

私たちは7年生の学年目標「大志ある原石」を歌うために、曲づくりに取り組みます。学年目標は30時間以上の時間をかけて話し合って決めたものです。大きな志をもっている私たちがその思いを磨き続けて宝石のように輝くという意味が込められています。学年のメンバーは個性的な人、明るい人が多く、そんな雰囲気を歌詞に取り入れていけたらいいと思っています。一人ひとりの意見を大切に、みんなとじっくり話し合ってこの学年にしか作ることができない曲に仕上げていきたいと思えます。

学うたの活動がいよいよ開始されました♪。

教育研究集会（11/30）



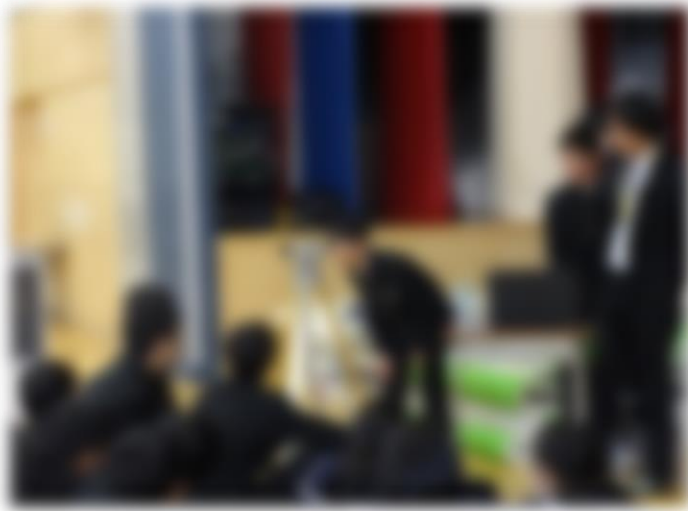
学年の代表として発表しました。

研究集会では授業公開と共に、学年プロジェクトの探究の過程をポスターセッションで発表しました。参会された方々からいただいた貴重なアドバイスは、今後の活動に大いにいかせそうです。



21 世紀夢講座 12/8

7年生と8年生の生徒を対象に、育友会主催の「21 世紀夢講座」が催されました。各専門分野でご活躍の社会人の皆様をお招きし、9つの会場に分かれて、働くことの意義や喜びについてのお話を聞き、ワークショップを体験しました。働く大人を身近に感じ、職業の魅力を実感できる貴重な時間となりました。この「21 世紀夢講座」をきっかけに、学年プロジェクトの探究や、将来の自分の進路に繋がられればと思います。お忙しい中、ご協力して下さった皆様、ありがとうございました



挑戦はいくつからでもできる！夢をかなえる生き方

7-A

この講座を通して夢を持つことが大事だということがわかりました。そして、夢を叶えるためには、少しでも努力する、夢を声に出して人に宣言する、手帳をつける、夢を叶える仲間をもつ、健康でいられるようにしっかりと食べる。いまの自分があるのは、周りのお陰だと感謝する。誰かの役に立つ働きをすることとも学びました。また、一人で頑張るのではなく、友達と励まし合って周りがあるから自分がいるのだと思って頑張ろうと思いました。先生から教わったことを活用してみても、夢を叶えられるように頑張ります。

税金から学ぶ社会とは



ヨガを体験してみよう



新聞に親しもう

講座名

1 福井の新たなお米「いちほまれ」のブランド化について
2 野球を通じて人間形成・育成について
3 ヨーガを体験してみよう
4 これからの美術館の楽しみ方
5 挑戦はいつからでもできる！夢をかなえる生き方
6 新聞に親しもう
7 税金から学ぶ社会とは
8 自然災害からの防災と最新ドローン技術
9 田舎から大海原への、挫折に満ちた航海

福井の新たなお米「いちほまれ」のブランド化について

7-B

今日の「21世紀夢講座」を通して、農家の人々や、お米の開発の方々素晴らしさを知ることができました。米、一つ一つに想いを込めているところや、何十万種類の中の一種類を選んでいくところなどがすごいと思いました。今の私にはまだ、米作りの人々のように熱い思いをもって取り組めるものはないです。でも、これからの授業や部活を通して、今日の講師の米作りの人たちのような強い思いをもちみんなに伝えていけるような、自分にとって大切なものを見つけていきたいです。

これからの美術の楽しみ方



福井のあらたなお米「いちほまれ」のブランド化について



野球を通じて人間形成・育成について



新聞に親しもう

7-C

新聞を書くときには5W1Hを入れるといいそうです。「When いつ Where どこで Who だれが What 何を Why なぜ How どのように」を入れて、普段の会話をより正確に楽しく行えるといいと思いました。私が1番驚いたのは、インターネットの情報の信頼度が100点中51.4点しかないそうです。いつもインターネットの情報はほとんど信じてしまっていたけど、全然だめだったとわかりました。NHKは100%正確だと思っていたのに70点しかないことを知って本当にびっくりしました。これからは、どんな情報でも一度疑って、考えてから利用したいと思いました。今日の講座を聞いて、たくさんの事を学びました。楽しかったし、面白かったです。

全校書写 (12/7)

新春の書き初めに向けて、全校一斉に書写に取り組みました。慣れない毛筆でしたが、納得のいく作品ができたようです。



ひまわり教室 (12/19)

冬休みを前に、福井警察署スクールサポーターの方をお招きして、「ひまわり教室」が開かれました。SNSの使い方や、法に触れてしまう行為について具体的に教えていただきました。また、少年法の観点から13歳になると、私たちの立場はどのように変わるのかを考えるなど、貴重な時間となりました。



リーダー研修会 (12/17)



7～9年の生徒会執行部、クラス委員、各委員会委員長など約40名のリーダーが集い、「附属の授業をよりよくするために」と題して分科会、全体会に分かれて話し合いました。全体会では、7年生からの発言も出るなど、学年をこえて意見交換することができたようです。

これまでの授業をふり返るとともに、リーダーとしての在り方について深く考える時間となりました。

